台大日本語文研究第 48 期
2024 年 12 月，頁 55-81
2024-08-05 收稿，2024-11-25 通過刊登
DOI: 10.6183/NTUJP. 202412_(48).0003

「zo」在談話中扮演著什麼樣的角色

深尾圓*

摘要

語氣詞「zo」一直以來被認為是「男性專用」的，並被描述為「給人一種粗魯的感覺」。本研究以會話語料庫以及訪談等談話資料為對象，針對「zo」的使用進行調查與觀察。結果顯示，在 21 世紀的現在，使用「zo」的女性也不少，且讓人不會感覺到粗魯的「zo」的使用也變多了。

觀察實際的談話資料後，發現了以下幾點。①「zo」被示作注意點。② 使用於想與聽者拉遠距離所使用的「zo」，以及相反的，即縮短與聽者之間的心理距離之作用的「zo」。③ 「zo」並非只能表達說話者的負面情緒，也有能夠表達正面情緒的場合。具有「表達話者強烈主張」核心語意的「zo」，會根據話者的陳述內容，上下文和語調呈現出多種樣貌，生動地表達話者的感情和主張。「zo」在對話中始終扮演著使話者的說話意圖發揮最大效用的角色。

在『日語日常會話語料庫』中，「zo」的使用不僅局限於年輕一代，而是被廣泛地使用於各個年齡層的男性和女性之間。本研究認為「zo」在使用方式的擴大，以及開始使用於各種不同場合，皆為「zo」使用次數增加的原因。

關鍵詞：「zo」、談話、男女、心理距離、說話的意圖

* 國立高雄大學東亞語文學系教授

臺灣大學學術期刊資料庫

How Does a Sentence-final Particle, "zo" Play a Role in Japanese Discourse?

FUKAO Madoka*

Abstract

A sentence-final particle, "zo" has been described as "men use only" and an impolite word. In this paper, the uses of "zo" are observed based on the Japanese corpora and discourse data such as interviews, and it is found that women also use "zo" and speakers effectively use "zo" in different ways in their discourse.

After observing the actual discourse data, the following points became clear. 1."Zo" submits an attention point in utterances. 2."Zo" is used in utterances that push away the listeners; on the contrary, it is also used in utterances that shorten the mental distance between speakers and listeners. 3."Zo" expresses not only speakers' negative emotions but also speakers' positive feelings. "Zo" has a key meaning of expressing speaker's strong assertions and feelings. "Zo" shows different faces due to utterances, context and intonations and lively expresses speakers' feelings and assertions. "Zo" always plays a role in maximizing the speaker's intended speech.

In the Corpus of Everyday Japanese Conversation, "zo" is widely used by speakers of various generations, both male and female. The change to a wide range of usage and its use in various situations has increased its use.

Key words: "Zo," discourse, male and female, mental distance, intended speech

* Professor, National University of Kaohsiung

臺灣大學學術期刊資料庫

「ぞ」は談話の中でどのような役割を果たしているのか

深尾まどか*

要旨

終助詞「ぞ」は、従来「男性専用」であり、「ぞんざいな感じを与える」と記述されてきた。本稿では、会話コーパスやインタビューなど談話資料を対象に「ぞ」の使用を調査、観察した。その結果、21世紀の現在では「ぞ」を使用する女性も少なくなく、「ぞんざい」に感じられない「ぞ」の使用も多く見られることがわかった。

実際の談話資料を観察し、次のことが明らかになった。①注目ポイントとして提示する「ぞ」がある。②聞き手を突き放す発話に使用される「ぞ」と、それとは逆に聞き手との心的距離を縮める働きをする「ぞ」がある。③「ぞ」は、話し手のマイナスの感情だけではなく、プラスの感情を表現する場合がある。「話し手の強い主張を表現する」という核となる意味機能を持つ「ぞ」が、話し手が告げる内容や文脈、語調によって様々な顔を見せ、話し手の感情や主張を生き生きと表現していた。「ぞ」は談話の中でいつも、話し手の発話意図を最大限に引き出す役割を果たしていた。

『日本語日常会話コーパス』では、若い世代だけではなく様々な年齢層の男女に広く「ぞ」が使用されていた。「ぞ」の使い方の幅が広がり、様々な場面で使用されるようになったことが、「ぞ」の使用の増加につながっていると考えられる。

キーワード：「ぞ」、談話、男女、心的距離、発話意図

* 国立高雄大学東アジア言語学科教授

臺灣大學學術期刊資料庫

「ぞ」は談話の中でどのような役割を果たしているのか

深尾まどか

一、はじめに

本稿の研究対象は終助詞「ぞ」である。「ぞ」は従来「男性専用」（国立国語研究所 1951、陳 1987、遠藤 2002）であり、「女性の話し手によって用いられる場合には、聞き手は自分自身の場合が普通である」（上野 1972）とされる語である。そして、最近では男性の使用も減ってきている（遠藤 2002）とされる。

「ぞ」は日本語の教科書でも、主に男性が使用し、ぞんざいな感じを与えると説明しているものがほとんどである（スワン 2004）。一方、アニメ、漫画などでは「ぞ」が使用される場面がよくあり、日本語学習者から「ぞ」の意味について聞かれたり、女性は「ぞ」を使わないのかという質問をされることがある。「ぞ」の実際の使用を見てみると、「ぞんざいな感じを与える」ものだけではないことに気が付く。

そこで、本稿では、実際の談話資料を対象に「ぞ」を調査、分析し、「ぞ」が談話の中でどのような発話効果を持ち、どのような役割を果たしているのかについて考察する。本稿の目的は次の 3 つである。①3 つの日本語会話コーパスを対象に「ぞ」の使用実態を調査する。②日本語会話コーパスやインタビューなど実際の談話資料を分析し、「ぞ」の発話効果と役割について明らかにする。③「ぞんざい」な感じを与えない「ぞ」の発話について記述する。

二、「ぞ」の量的調査

（一） 「ぞ」の量的調査に関する先行研究

大学生の男女（男性 12 人、女性 13 人）のインフォーマルな場面での会話を分析した『大学生の話しことばにみられる男女差異』

臺灣大學學術期刊資料庫

（1979）[1]の資料を使い、終助詞の男女使用比率を調査した川口（1987）は、「ぞ」の 94.4%が男性に使用されていたと述べている。1996 年 11 月に、大学生が録音した親しい者同士（女性 65 名、男性 64 名）の会話データ（666 の発話、女性 330、男性 336）を対象に終助詞の男女の使用を調査した小川（1997）は、「ぞ」は男性に 11 件使用され、女性の使用はなかったと述べている。1999 年 10 月から 2000 年 12 月にかけてデータが収集された「男性のことば・職場編」の談話資料（12 時間、11099 レコード）の「雑談」（約 4.6 時間[2]、男性 3033 レコード、女性 1233 レコード）を選び、男性の言葉の文末を調査した遠藤（2002）は、「ぞ」は男性専用終助詞とされるが、「すごいぞ」のような例が 1 例あったのみで、男性の使用も減ってきていることがわかると述べている。これら 20 世紀後半の調査から、「ぞ」は主に男性に使用され、その使用はかなり少ないことがわかる。

（二）3 つの日本語会話コーパスを対象にした調査

本稿では、「ぞ」の現在の使用実態を見るために、3 つの日本語会話コーパスを対象に「ぞ」の使用件数を調査した。

1. 調査コーパス

入手可能なコーパスのうち、自然な談話が収録されている 3 つのコーパスを選び、調査した。3 種類のコーパスを調査することにより、より信頼性の高いデータが収集できると思われる。コーパスの概要を表 1 に記す。

[1] 井出祥子（1979）『大学生の話しことばにみられる男女差異』文部省科研費特定研究「言語」ペング班中間報告

[2] 「雑談」の時間数は記載されていないため、調査対象の総レコード数 11099 に占める雑談のレコード数 4266 の割合から算出し、提示した。

臺灣大學學術期刊資料庫

表 1　コーパスの概要

	CJS	名大	CEJC
コーパス	CALLHOME Japanese Speech	『名大会話コーパス』	『日本語日常会話コーパス』
製作者	Linguistic Data Consortium	研究代表者：大曾美恵子	国立国語研究所 研究代表者：小磯花絵
公開	1996 年	2001 年～2003 年にデータ収録	2022 年（2016 年～2019 年にデータ収録）
内容	電話の自由会話を録音したもの。音声資料、一部文字化テキスト。 参加者：友人、家族など親しい間柄。	自由会話の文字化テキスト。 参加者：友人、先輩、後輩、同僚、恋人、家族などの間柄。一部初対面を含む。	協力者 40 名（20 代から 60 歳以上の男女各世代 4 名）が日常生活で自然に生じる会話を記録したもの。音声資料、文字化テキスト。
長さ	120 の会話（15 分～30 分程度）合計約 49 時間	129 の会話（30 分～60 分程度）合計約 100 時間	513 の会話 合計約 200 時間
参加者数	272 名（女性 202 名 男性 70 名）	198 名（女性 161 名 男性 37 名）	862 名（女性 450 名 男性 412 名）

2.「ぞ」の使用実態

3 つのコーパスで使用されていた「ぞ」の件数を表 2 に示す。それぞれのコーパスの会話時間が異なるため、1 時間当たりの「ぞ」の件数も算出した。CJS（1996）では 32 件だったが、名大（2001—2003）は 103 件、CEJC（2022）は 217 件と「ぞ」の使用は少なくないことがわかった。先行研究のデータ（20 世紀後半）と比較すると、21 世紀の現在では「ぞ」の使用件数が増加していると言えるだろう。

臺灣大學學術期刊資料庫

表 2 「ぞ」の使用件数

	男	女	合計	件数／時間
CJS	16	16	32	0.65
名大	32	71	103	1.03
CEJC	156	61	217	1.09

名大 198 名と CEJC の録画協力者 40 名の「ぞ」の使用率を調査した結果を図 1 に示す。最も新しい CEJC では若い世代だけではなく、10 歳未満から 70 代までと様々な年齢層に広く「ぞ」が使用されていた。名大では 10 代 20 代の若い世代では男性 55.0%、女性 33.7%に「ぞ」が使用されていたが、30 歳以上の中高年層では「ぞ」を使用する人の割合が低くなっていた。一方、CEJC では、若い世代だけではなく全ての世代で 41.7%から 75.0%と広く「ぞ」の使用が見られた。

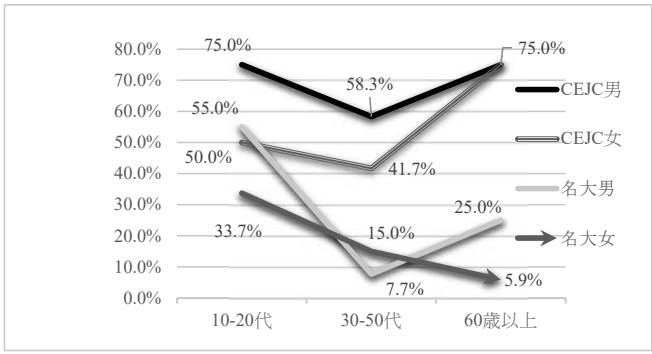


図 1「ぞ」の使用率

また、女性の「ぞ」の使用であるが、CEJC（2022）では 61 件と全体の約 30%を占め、「ぞ」を使用する女性も少なくないことがわかった。なお、CJS と名大は女性の会話参加者のほうが多く、そのため女性の「ぞ」の使用が多くなっており、それで男女比は計算していない（表 1、表 2）。

臺灣大學學術期刊資料庫

さらに、「ぞ」は、文中（引用節）[3]で使用される割合が高い終助詞であることがわかった。表 3、4 に示す。特に女性は「ぞ」を引用節で使用する割合が高く、CEJC では、女性の「ぞ」の使用の 65.6%が引用節で使用されていた。そして、男性の「ぞ」も 25.0%が引用節で使用されていた。引用節での使用は、15 年前の名大から女性は 12 ポイント、男性は 6 ポイント上昇している。しかも、そのほとんどが男性の発話の引用ではなかった。参考までに、他の終助詞では「よ」が引用節で使用された割合は僅か 6.3%（CJS を対象とした調査）であり、「わ」が引用節で使用された割合は女性 15.2%、男性 9.2%である（名大会話コーパスを調査）[4]。

表 3 「ぞ」の位置 男性

	文中	文末
CJS	3(18.8%)	13(81.3%)
名大	6(18.8%)	26(81.3%)
CEJC	39(25.0%)	117(75.0%)

表 4 「ぞ」の位置 女性

	文中	文末
CJS	11(68.8%)	5(31.3%)
名大	38(53.5%)	33(46.5%)
CEJC	40(65.6%)	21(34.4%)

以上、「ぞ」は現在も確かに使用されており、女性の使用も少なくないこと、そして、文中（引用節）で使用される割合が高いことがわかった。

三、「ぞ」の意味機能に関する先行研究

「ぞ」の意味機能に関する先行研究を概観する。先行研究には、時枝（1951）、国立国語研究所（1951）、上野（1972）、陳（1987）、野田（2002）、スワン（2004）、深尾（2010）がある。時枝（1951）は、「ぞ」を「聞き手に対して、話し手の意志や判断を強く押し付け

[3] 音声があるコーパスは音声も聞いて、文末か文中での使用かを判断した。「取れたぞ、針も一緒に」のように、後から修飾する語句が来たり、「結構難易度高いぞ、これは」のように、倒置文の場合なども、「ぞ」を文末での使用としてカウントした。

[4] 詳しくは深尾（2015）、深尾（2019）を参照されたい。

臺灣大學學術期刊資料庫

る表現であるから、敬語的表現や婉曲的表現或は、相手に同調を求める表現とも対立する」と述べている。国立国語研究所（1951）は、「ぞ」について「自分の判断を自分に言い聞かせる。ひとりごとに用いる。話の内容について念を押して主張する。対等または目下の相手に対する言い渡し・おどかし・警告などの語気を含む」と述べ、次の例を挙げている。

（1）おや、白ペンキがあるぞ。（『少年クラブ』）

（2）試合を見に来たんだぞ。練習見に来たんじゃねえぞ。（『ロマンス』）

（3）手をあげろっ　にげようたってだめだぞ。（『少年クラブ』）

そして、上野（1972）は、「ぞ」を「強い主張を表す」と指摘している。

（4）これはおかしいぞ。（上野 1972）

また、陳（1987）は、「ぞ」を「話し手のほうが、聞き手よりよく認識している情報を聞き手に伝えて聞き手に注意を促す文につける。「ぞ」の付いた文は、相手の行為を促す働きを持つ」と指摘した。

（5）何してんだよ。置いていくぞ。（『明日天気になあれ』、陳 1987）

この指摘に関して、野田（2002）は「ぞ」は、常に聞き手の行為を期待して用いられるわけではなく、聞き手が認識していないことを、しっかり認識させようとするだけの場面で用いられることも多いと述べ、「ぞ」を次のように規定した。「「ぞ」は、その文の内容を新たに認識することで、既存の知識が変化することを表す。聞き手に対して用いると、文の内容を聞き手に認識させて、聞き手の認識を変えようとしていることが表されるため、「よ」よりも強く感じられる。」

（6）大丈夫か、ユキ？　真っ青だぞ。（『コンセント』、野田 2002）

これに対して、深尾（2010）は「ぞ」が相手を肯定する発話で使われることから、「相手の行為を促す働きを持つ」ことや「聞き手の認識を変えようとする」ことが「ぞ」の中心的な意味ではなく、これらの意味は文脈により生じる働きであると述べた。そして、先行

臺灣大學學術期刊資料庫

研究の知見を踏まえ、「ぞ」を「話し手の告げる事柄が間違いないという強い主張を表現する」と規定した。

（7）（大地震の後、大量に生活用品を仕入れてきた息子に対して）
社長（父親）:いいぞ、いいぞ。（「救命病棟 24 時」フジテレビ、深尾 2010）

これらの先行研究に対して、スワン（2004）は「ぞ」の談話機能について考察した研究である。話し手が聞き手に関わる情報だと認識・判断し、伝達の必要性を強調し、「る」体といっしょに使われるということから考えて仲間意識を前提とした談話の中で使われ、主に男性の間で用いられるという考えを基に論じている。聞き手の状況により7つの「ぞ」の談話機能を提出し、「ぞ」の談話機能 1 は、「話し手は聞き手が現在の状況を認知していないと判断し、認知する必要性を伝達するために用いられる」と述べ、次の例を挙げている。そして、税務署はだませないから、注意した方がいいと軽い気持ちで、友人として相手を気遣う意味で「ぞ」を付加していると説明する。

（8）A:課長、ちょっと頼みがあるんだ。
B:なんだ。
A:あんたに 500 万円、借りたことにしておいてほしいんだ。
B:またかけ好きか。気を付けたほうがいいぞ。近ごろの税務署は怖えから。（「マルサの女」東宝）

スワン（2004）は「ぞ」が「る」体にだけ用いられる理由を Kose（1997）を引用し、「話し手が聞き手のことに関する伝達の必要性を強く感じ、それを直接ある言葉を使って認めさせることができる聞き手は、日本の社会では、親しい間柄だと考えられる。そこで「ぞ」は「る」体といっしょに使われる」と説明している。

先行研究により、「ぞ」が「ひとりごとに用いる。自分の判断を自分に言い聞かせる」こと、「話し手の強い主張を表現する」ことが明らかになった。そして、話し手の判断を聞き手に強く押し付けたり、聞き手の認識を変えようとしたり、相手の行為を促す働きをする場

臺灣大學學術期刊資料庫

合があるなど、「ぞ」の性質が明らかになったと思われる。ただ、先行研究では、小説やドラマ、映画のシナリオなどの創作された資料や筆者の内省を基に「ぞ」の意味機能が考察されていた。また、「異国にやってきたぞという気分になる」のような引用節で使用される「ぞ」は分析されていない。前節で見たように、「ぞ」は文中（引用節）で使用される割合が特に高い終助詞であり、そのことは「ぞ」の本質と関わりがあると思われる。よって、本稿では実際の談話資料を基に、文末の「ぞ」だけではなく、文中（引用節）で使用される「ぞ」も観察し、考察する。

四、談話の中で「ぞ」はどのように使われているのか

国立国語研究所（1951）は、「ぞ」の発話効果について「対等または目下の相手に対する言い渡し・おどかし・警告などの語気を含む」と述べていた。これらが映画や小説、漫画などから、これまで私たちが「ぞ」について抱く一般的なイメージであったと思う。コーパスでも次のように話し手の怒りを表現し、聞き手に「警告する」「ぞ」の例が見られた。

（9）（同僚の失礼な発言に対して）

IC01_山口:ぶん殴るぞ、この野郎。（CEJC、S002_007）男 30 代

しかし、実際に談話を観察すると、「ぞ」が「対等または目下の相手に対する言い渡し・おどかし・警告」以外にも話し手の様々な発話意図を表現し、発話効果を持つことがわかった。次の（10）では、「ぞ」が発話内容を注目ポイントとして提示しており、「ぞ」の使用により会話が生き生きと感じられる。

（10）（ロフトがコスメを売っていることに関して）

IC03_志麻子:ってゆうか、ロフトはもともとあれだよ、別に文房具のってゆうよりもなんだろう、（あ、）あの雑貨ってゆうかいわゆるこれ来るぞ、ミ的なものを置く。（あー、そうなの。）（CEJC、K012_004）60 代女

臺灣大學學術期刊資料庫

第四節では、(一)で聞き手との心的距離と「ぞ」の使用について考え、(二)で話し手の感情を表現する「ぞ」について観察する。そして、(三)で「ぞ」が談話の中で果たす役割について考察する。なお、コーパスから引用した会話には、最後に、コーパス名、会話コード、「ぞ」の話者の年齢、性別を記載する。引用にあたり、地名など実際の名称は記さず、[-地名-]などと記載する。

(一)聞き手との心的距離と「ぞ」

次の例は、志村けんの愛弟子げそ太郎が、志村の運転手の面接に合格し初めて志村と顔を合わせた時のことを語る場面である。「教えることはないぞ」、つまり「芸は教えられない」と突き放す発話に「ぞ」が使用されている。「言い渡し」(国立国語研究所 1951)の例であると考えられる。

(11) げそ太郎:緊張してあまり記憶がないのですが、志村さんに「芸人を目指してオレのところに来ても、教えることはないぞ」と言われました。(「文春オンライン」2020.4.11〈https://bunshun.jp/articles/-/37114>)

これに対して、聞き手との心的距離を縮める働きをする「ぞ」がある。(12)で、溝口は教師で、田辺と真由美は学生である。田辺が梅園の話を始める。

(12) IC03_真由美:梅もいいね。
IC02_田辺:梅もいいね。(中略)でも、ここ桜咲いたら綺麗だな。
IC03_真由美:ね。
IC01_溝口:超綺麗ですよ。
IC03_真由美:見たいね。
IC01_溝口:ここは。ぜひ(うん。)あー今まで来たことないんならね。(えー)
IC02_田辺:彼氏作って行こうね。(〈笑い〉)

臺灣大學學術期刊資料庫

IC01_溝口：うん。うんうん。まあ、いいじゃない。彼氏アあえて作んなくても。（〈笑い〉）変な彼氏なんかないほうがいいよ。ましだよ。

IC02_田辺：そうですね。そうですね。

IC01_溝口：そうそ。（〈笑い〉〈笑い〉）

IC02_田辺：友達と行こう。

IC03_真由美：友達とも楽しいぞ。

IC02_田辺：お花見、お花見しよう。（CEJC、T013_013）20代女

（12）では、「まあ、いいじゃない。彼氏あえて作んなくても」「（お花見に）友達と行こう」という先生、友人に同調する発話で、真由美は「友達とも楽しいぞ」と「ぞ」を使用している。真由美はその前の発話でも「梅もいいね」「ね」「見たいね」と「ね」を使用して友人の田辺と積極的に意識の共有化[5]を図っており、その流れで「友達と行こう」に対する「友達とも楽しいぞ」は田辺とさらに同じ意識を共有し、仲間意識が感じられる「ぞ」であると言える。

（13）は初対面の院生2人の会話である。2人は簡単な自己紹介をし、夏の暑さやクラブ活動などについて話した後、修論の話になるという場面である。

（13）F122：先生も忙しいけど、自分も忙しいですよね、（もちろん。）何かね。その卒業までに30単位取らなきゃいけないっていうんで、（うん。）（中略）何かねー、取ってる授業の3分の1ぐらいはほんとに単位のためだけに（うーん。）ていうのがあるから。

M006：専門とは違うことをやってる授業とかあるんですか。

F122：あー、違うってゆっても、でも、やっぱりテーマがわりと、こう、せばまってきちゃうじゃないですか、修論のテーマ。（うんうんうん。）だから、同じよう

[5] 時枝（1951）は、「ね」について、聞き手を同調者としての関係に置こうとする主体的立場の表現であると述べている。

臺灣大學學術期刊資料庫

なテーマに見える授業でも、実は全然、(うんうんうん。) 関係ないぞみたいなのがあって。

M006：その、し、知ってても役に立たんぞっていう、そのぐらいひどい?(んー。) じゃ、予備知識としてはまあこれもいいかっていう、あきらめもつかないような。

F122：ああ、あ、あきらめはつくかな。〈笑い〉

M006：まあ、こういう授業もありかっていう感じ。

F122：うん。まあ、息抜きみたいな。〈笑い〉(名大、data063)

20 代女、20 代男

冗談を交えながら和やかに話す中、F122 は授業に対する不満を口にするのであるが、「同じようなテーマに見える授業でも、実は全然、関係ないぞみたいなのがあって」と「ぞ」を使って本音を吐露することによって、聞き手との距離が縮まる。そして、それを受けて、M006 も「その、知ってても役に立たんぞっていう、そのぐらいひどい?」と「ぞ」を使い返している。話し手から聞き手に「ぞ」が伝染して（伝わって）おり、ここで 2 人が「ぞ」を使用することによって仲間であるという確認が行われていると考えられる。そして、それがこの後「息抜きみたいな」という冗談につながっている。「ぞ」が 2 人の心的距離を近づける働きをしていると言える。

次の（14）は、学年ビリから 1 年で偏差値を 40 あげて慶應大学に現役合格し、今はニューヨークの大学院で勉強している小林さんのインタビューからの例である。

（14）小林:成績はいまのところオール A です、英語出来ないのに。だからなんとかなるぞと伝えたいですね。（「FNN プライムオンライン」2023.8.15 〈https://news.yahoo.co.jp/ articles/73856693〉）

多くの人に向けてのメッセージに「なんとかなります」ではなく、「なんとかなるぞと伝えたいですね」と「ぞ」を使用し、自分の気持ちをストレートに力強く表現することによって読み手との距離が

臺灣大學學術期刊資料庫

縮まり、成功した優秀な学生からのアドバイスではなく、同じ目線でのメッセージに感じられる。

（二）話し手の感情を表現する「ぞ」

話し手のマイナスの感情を表現する「ぞ」とプラスの感情を表現する「ぞ」を観察する。

1. 話し手のマイナスの感情を表現する「ぞ」

「ぞ」は「言い渡し・おどかし・警告」（国立国語研究所 1951）などの語気を含む場合があること、そして、話し手の怒りや不満を表現する場合があることはすでに見た。次の例では、「ぞ」が話し手の苛立ちを表現している。（15）では、テニス部をやめたいという話をして、「どうしよう」となかなか結論を出さない A に対して、それまで柔らかい関西弁で穏やかにゆっくり話していた B が急にトーンを変え、早口で「やりいよ、それは。しゃあないぞ、もう」と、少しイラっとした調子で言う発話に「ぞ」が使用されている。

（15）A：もう、どうしよう。やめたい。誰にも言われねんけど。
B：でも、あんた、それでなんか、
A：やめたらめっちゃ怖くない?（え?）やめることがめっちゃ怖いやん。
B：なんか、やりいよ、それは。しゃあないぞ、↓もう。それは、結構やっぱしゃあないで。（CJS、1607）女

（16）（17）は、話し手が不快だと感じる人物の言動に「ぞ」を付加して表現している例である。話し手は発話に「ぞ」を付加し、横柄な態度の係員や客を表現しており、「ぞ」が強い立場からの発言で、発話に「威張った」[6]ニュアンスを与えている。

（16）IC01_塚田：まあ我々も同じその高齢者で高齢者の人がそのもらいに来るわけだけど（はい。）なんかもう高齢者が高齢者をいじめるようなシーンとゆうのはやっぱりダあるんで

[6] 井出（1983）は、野卑な表現が男性に多く使われていると述べ、野卑な表現とは、「きさま」、「てめえ」、「くそ」、「この野郎」などフォーマリティーのレベルが低いもので、軽蔑、威張り、ぞんざいの態度を示すことばであると説明する。そして、終助詞「ぞ」「ぜ」は男性だけに使われ、野卑なニュアンスを持っていると指摘している。

臺灣大學學術期刊論文

すよね。(ええ。あー)コ持ってこなきゃだめじゃないとか、そんなの持ってこなかったら絶対にうち発行してやらないぞとか、ま、そうゆうな態度ってゆうの、まあま四五年前結構ありました。(CEJC、T007_009) 70 代男

(17) (「お客様は神様」という文化が素敵だと思っていたと話す真由美。)

IC03_真由美:でも、なんかスーそれをなんかこう勘違い、勘違いってゆうか＃＃＃人としてそのお客さん偉いんだぞみたいなこうってゆう態度を取る人が日本なんかその文化にあるなってゆうのを気付いた時に、あー、なんかそゆうふうになっちゃうと嫌だなって思うんだよね。(CEJC、T013_014c) 20 代女

次の(18)では、はやす発話に「ぞ」が使用されている。「エロいぞ」と、2 回同じ文を繰り返すことによって、「はやす」という効果が出ている。

(18) IC03_拓人:(伊達政宗が)エロいぞ、エロいぞ。(CEJC、T003_018) 10 歳未満

2. 話し手のプラスの感情を表現する「ぞ」

ここから、話し手のプラスの感情を表現する「ぞ」の発話を見て行こう。

(19) (33 歳 IT 社長が「知識ゼロ」「漁師の知り合いゼロ」から取り組む漁業の DX)

インタビュアー:じゃあ、創業メンバーの 3 人は、誰ひとりとして漁師の息子だったとか、海が大好きだったということではなく?

社長:そうです。結果としていまは 3 人とも海が大好き、漁師が大好きとなってますが、当時はまったく。そもそも漁師の知り合いはひとりもいなかったですし。

臺灣大學學術期刊資料庫

インタビュアー：そんな手掛かりひとつないところから、まず何を？

社長：大学にはどうも水産学部というものがあるらしいぞと聞いたので、水産学部の先生をリストアップして、片っ端からDMを投げました。「ドローンとかAIとか、面白そうな技術はいろいろとあるんですけど、何か使い道はありませんか?」といって。そうしたら、ありがたいことに数人から返信があったので、現場の課題を聞いたり、漁師さんを紹介してもらったりしました。それからは、紹介してもらった漁師さんの港に泊まり込んで、ニーズを探りながら開発を進めていった感じですね。（「Gyoppy!」2020.12.28〈https://sdgs.yahoo.co.jp/originals/75.html〉）

（19）は、「未知を拓く」という企業理念を最初に決め、海に関する「知識ゼロ」「漁師の知り合いゼロ」から会社を創業し、現在漁業・水産業の問題解決に取り組むITベンチャー企業の社長のインタビューである。「手掛かりひとつないところから、まず何を？」と聞かれ、「大学にはどうも水産学部というものがあるらしいぞと聞いたので、水産学部の先生をリストアップして、片っ端からDMを投げました。…」と事業を始めるために得た重要な情報を「ぞ」で提示している。ここで社長が「大学にはどうも水産学部というものがあるらしいぞと聞いたので」と「ぞ」を付け加えることによって[7]、大学の水産学部から何かビジネスチャンスを得ることができるかもしれないという期待感、わくわく感が感じられる発話となっている。

同様の「ぞ」は話し言葉に近い書き言葉にも見られる。次の例はインターネットで連載されている宇賀なつみの旅エッセーからで

[7] メイナード（1997）は引用表現について、引用内容は誰かが言ったことをレポートするのではなく、あくまで引用者の創作であり、それは引用者の「声」、視点、発想法を表現する一つの手段と考えるべきであると指摘している。本稿で分析した発話でも、引用者である「話し手」が引用節で「ぞ」を付け加えることによって様々な感情や主張を表現していた（第四節）。

臺灣大學 國際合作處

ある。本場のタイ料理を食べにバンコクを訪れ、夕食にレストランでおいしいタイ料理を食べた後のことである。

（20）もう一軒、帰りに勢いで入った居酒屋風の店は、かなり混んでいたが観光客はおそらく私たちだけで、英語もギリギリ通じるか通じないか…店員もクールな感じで、異国にやってきたぞという気分になる。(「朝日新聞デジタル」2021.8.26〈https://www.asahi.com/and/article/20210826/408181759/〉)

（20）の「異国にやってきたぞという気分になる」という文では、その前に「帰りに勢いで入った居酒屋風の店は、かなり混んでいたが観光客はおそらく私たちだけで、英語もギリギリ通じるか通じないか…店員もクールな感じで、」という文があり、観光客は自分たちだけで英語もあまり通じない状況下での不安感と、「店員もクールな感じで、異国にやってきた」という「わくわく感」が「ぞ」で強く表現され、彼女の意図した通り読み手を引きつける生き生きとした文となっている。

（21）は、旅行の予定が決まって喜ぶ男性の発話に「ぞ」が使われている。「ぞ」が話し手のうれしい気持ちを強く表現している。

（21）IC02_塚田：これで山形へ行けるぞ、シル、シルバーパスで。（CEJC、T004_014）70 代男

次の（22）は、自宅のインターネットの速さを自慢する F004 の発話に「ぞ」が使用されている。「ぞ」の付加により、話し手の誇らしげな様子が感じられる。

（22）F004：ちょっとコンピュータ関係の話題が出たところで、自慢をしますけど、〈笑い〉最近うちね、ブロードバンドにしたんですよ、インターネットを。

F005：もう、どう?

F004：速いぞー。

F005：速いのー。

臺灣大學學術期刊資料庫

F004：うん。速い、速い、めちゃくちゃ速いですよ。（名大、data023）20 代女

（23）では、自分の勤務する病院について話す砂川。「[−地名−]ではそうゆうこともやってるんだぞってゆうのを広めたいし」と「ぞ」を付加することによって少し自慢げで、誇らしげな様子が感じられる発話となっている。

（23）IC04_砂川：いえね、だって、ぜひ＃＃広めたいし、（うん。）[−地名−]ではそうゆうこともやってるんだぞってゆうのをね。（CEJC、T014_011b）60 代女

（三）「ぞ」が談話の中で果たす役割について

ここで、「ぞ」が談話の中でどのような役割を果たしているのかについて考察する。第三節で先行研究から「ぞ」には「話し手の強い主張を表現する」という核となる意味機能があることを見た。そして、第四節では、まず、注目ポイントとして提示する「ぞ」を見た。次に、聞き手を突き放す（聞き手との心的距離を広げる）発話で使用される「ぞ」と、それとは逆に聞き手との心的距離を縮める働きをする「ぞ」を見た。そして、「ぞ」は、話し手のマイナスの感情だけではなく、プラスの感情を表現する場合があることを観察した。また、話し手の強い意志や決意、表出、発見などを表現する「ぞ」がある（第五節を参照のこと）。「話し手の強い主張を表現する」という核となる意味機能を持つ「ぞ」が話し手が告げる内容や文脈、語調[8]によって様々な顔を見せ、話し手の感情や主張を生き生きと表現していた。「ぞ」は談話の中でいつも話し手の発話意図を最大限に引き出す役割を果たしていた。そして、「ぞ」には聞き手がいつも意

[8] テレビ番組で芸人チームが高校生 1000 人とかくれんぼをするという企画で 1 人の芸人が仲間に向かって強い調子で「絶対勝つぞう！」と言っていたが、これは「う」で上昇する通常より長い下降上昇調のイントネーションによって、チームの仲間に向けて「勝利しよう」という話し手の強い気持ちが表現されていた。一方、皆で決意表明する（26）「マテ貝、捕るぞー！」では、「ぞー」と長平のイントネーションになっていた。
（i）芸人：絶対勝つぞう！
他の芸人：おうー！（「新しいカギ」フジテレビ）

臺灣人學學術期刊資料庫

識されていた[9]。聞き手を意識し、「ぞ」の使用で話し手の強い感情や主張を表現し、聞き手に見せるという演出がされていた。話し手は「ぞ」で話の内容に聞き手を引き込み、「ぞ」が会話を生き生きとしたものにしていた。「よ」「わ」「な」など他の終助詞では、発話に第四節で観察したような意味は生じない。

五、「ぞんざい」な感じを与えない「ぞ」の発話について

井出（1983)は、「ぞ」をぞんざいの態度を示す、野卑なニュアンスを持つ終助詞であると述べている。また、「ぞ」は日本語教科書では主に男性が使用し、ぞんざいな感じを与えると説明されてきた(スワン 2004)。しかし、実際には「ぞんざい」に感じられない「ぞ」の使用も多く見られた。第五節では、「ぞんざい」に感じられない「ぞ」の使用を記述する。「ぞんざい」に感じられない「ぞ」の発話には、「表出する」「聞き手配慮がある」「聞き手の共感を得る」という 3 つの特徴が見られた。また、最後に「ぞんざい」に感じられない「ぞ」の発話のイントネーションについても言及する。

（一）独り言や話し手の主張や感情を表出という形で表現する発話に使用される「ぞ」

女性の使用もあると指摘されていた独り言や心の中で思ったこと（上野 1972）に使用される「ぞ」はぞんざいに感じられないことが多い。

（24）（秘書をやっている友達の話をして）

F045：何か、あたし、あたしもやってるぞ、その仕事とか思って。（名大、data067）20 代女

聞き手がいる場面でも、話し手の意志や決意[10]、表出、発見[11]したことを表現する発話では「ぞ」の使用がぞんざいに感じられないことが多い。それは、これらの発話が、話し手の主張や感情を表出と

[9] 独り言などで使用される「ぞ」は聞き手が話し手自身であると考えられる。
[10] 陳（1987）は、「意志」と「決意」を表す「ぞ」の文について指摘している。
[11] 森山（1997）は、「痛いぞ」が「そのことに初めて気づいた」という文脈で用いられると指摘している。

臺灣大學學術期刊資料庫

いう形で表現する発話であり、直接聞き手の「行為を促す」ことを目的とした発話ではないことによると考えられる。

（25）（何を作るか 2 人であれこれ相談をして、F123 は以前自分が食べたハーブが入ったブイヤベースの話をする。）
F093:それいいかもね、なんか、変わったのをやるぞ。
F123:おいしかった。やろう。（名大、data049）20 代女［意志］

（26）（カメラの前で一列に並んで決意表明をする子供たち）
マテ貝、捕るぞー！（「NHK ニュース」）［決意］

（27）F158：北海道に行くときは、もうよほど、行くぞって決めないと。（名大、data118）50 代女［決意］

（28）IC01_中田：あ、甘い、これ。すごい甘いぞ。（CEJC、T005_008）30 代男［表出］

（29）F009：すごく、その 1000 円ぐらいのことで、いったい私はなんなんだ。悲しいぞ。（名大、data047）30 代女［表出］

（30）F150：あっ、わかったぞ。スピードが一解散しちゃったから、嫌になっちゃったんじゃないの？（名大、data104）10 代女［発見］

（31）では、「ああ言えばこう言う。（あんた）感じ悪いよ」と直接相手に向けて言うのではなく、「ああ言えばこう言う。感じ悪いトークになってきたぞ」と「ぞ」を使い、今 2 人の会話が感じ悪くなっていることに気がついたと言うことによって直接相手を非難することを回避でき、やんわりと話し手の気持ちを伝えることができている。

（31）F004：ねえねえねえ、なんで取ろうとしてくれないの？
M034：F004 の方が取りやすいじゃん。
F004：また、また。ああ言えばこう言う。感じ悪いトークになってきたぞ。
M034：あ、じゃあ、ごめん。（名大、data092）20 代女［発見］

臺灣大學學術期刊資料庫

（二）聞き手配慮がある発話に使用される「ぞ」

聞き手配慮または提示の仕方に配慮がある発話に使用される「ぞ」もぞんざいな印象を与えないことが多い。(32)(33)[12]では、相手を気遣う発話に「ぞ」が使用されている。

(32)（汗をかいて濡れた服で帰ってきた息子に）

IC05_パパ：風邪引くぞ。（CEJC、T011_014）40 代男

(33)（部屋を片付ける友人に）

F076：大丈夫？ こぼすぞー。（名大、data103）10 代女

「ぞ」が引用節で使用され、後ろに「みたいな」「という」「とか」「的な」などが来る場合にもぞんざいな印象にはならないことが多い[13]。

(34)（ピータンとパクチーの味が無理だと言う紗矢。）

IC01_樫田:そこまで言ったらパクチーがかわいそうでしょ。

IC03_紗矢:いや、パクチーもまずいぞ、みたいな。(CEJC、K010_001）20 代女

パクチーを擁護する相手に対して、「ぞ」を使い「いや、パクチーもまずいぞ」とはっきりとパクチーを否定し(本音)、その後で「みたいな」[14]を付加し主張を和らげている。

(35) IC04_大塚:てゆうか、ここさ、結構給料遅いやん。(うん。)

意図的かってぐらい「利息付けるぞ」ゆうぐらい徹底しとる。

（CEJC、S002_007）30 代女

---

[12] 「おい、こぼすぞ！」と強い口調で「ぞ」を下降上昇調のイントネーションで発音すれば、ぞんざいな印象を与える発話になると思われるが、(33) は、「大丈夫?」と相手を気遣い、「ぞ」が長音で発音されていることからぞんざいに感じられない。

[13] 高崎 (1996) はテレビ番組で使われる女性の言葉を調べ、命令形、「ぞ」「な」、推量の助動詞「だろう」など女性がほとんど使わないとされる言語形式・表現が引用形式をとることで直接性が緩和され、自分の思考を説明するという形になってインタビューの情報提供という機能の中に無理なく納まることができると述べている。

(i) 三好：よし、やるぞってね。(高崎 1996)

[14] 佐竹 (1995) は、「～みたいな」「～とか」「～たりして」などの文末での用法を「断定回避」と呼び、「断定を避ける」ことによって「表現を和らげる」という共通性が認められると述べている。

臺灣大學學術期刊資料庫

（35）では、給料の支払いが遅いことに対する話し手の強い不満が「利息付けるぞ」で表現されているが、その後ろに「ゆうぐらい徹底しとる」（という[15]ぐらい徹底している、と言いたいぐらい非常に遅い）と続けることによって、話し手の強い主張が軽減され、さらに、表現のおもしろさから「ぞ」の使用がぞんざいに感じられない。

（三）聞き手の共感を得ることを意図した発話に使用される「ぞ」

第四節で見た、聞き手との心的距離を縮める働きをする「ぞ」、話し手のプラスの感情を表現する「ぞ」や注目ポイントとして提示する「ぞ」は、話し手が聞き手の共感を得ることを意図して使用されていた。これらの「ぞ」もぞんざいには感じられない。第四節で挙げた例以外にも、聞き手との心的距離を縮める働きをする「ぞ」は次のような場面でも使用されていた。（36）は、F060 が今この場にいない P に関して「あいつ人を、召使いじゃないぞ」と「ぞ」を使い強い非難の気持ちを表現しているが、これは F060 が友人 F125 に向けて（を意識して）その気持ちを代弁したものであり、2 人の間に強い仲間意識が確認される発話となっている。

（36）（F125 は、恋人 P に経済力がなく、普通の男友達に晩ごはんをおごってあげるからと言われるとかえって警戒してしまうと話す。）

F060：それがおかしいんだよね。絶対おかしい。（うん。）じゃ、P がおかしい。

F125：あー、何かでもよく晩飯作りにこいとか言うよー。

F060：あいつ人を、召使いじゃないぞ。

F125：そう、私はあんたの飯炊き女じゃねーって言ってやったけどさ。（名大、data019）20 代女

さらに、笑いをもたらす「ぞ」の発話もぞんざいな印象は受けない（37）（38）。（37）では、A は、孫と話すために英語がわからなく

[15] メイナード（1994）は、自己引用の「という」について、自分が言った内容を自ら引用することによって発話行為との距離を置きその効果を軽減すると指摘している。

臺灣大學學術期刊資料庫

ても物怖じせずにアメリカに電話する祖母のことを、「おばあちゃん、結構ね、恐れを知らずかけたがるぞって。普通に」と「ぞ」を使いユーモラスに、そして、生き生きと表現している[16]。

（37）（B の祖母が、電話に出たアメリカ人に 1 分ぐらいずっと孫の名前を言い続けていたという話を聞いて）

A：〈笑い〉超受けるね。〈笑い〉

B：受けるやろ。〈笑い〉でも、おばあちゃん、結構ね、恐れを知らずかけたがるぞって。普通に。

（CJS、1832）女

（38）は「ぞ」が独話（講演）で使用されている例である。

（38）ま、そんな僕もあの、高校に入りまして、えー、高校の時はあの隔世遺伝という話を聞いて、自分の母親側のお爺ちゃんが、あのー、ま、禿げだと自分も危ないぞ、という話を聞きまして、ま、僕の母親方のお爺ちゃんは凄く、ま、一本も髪の毛がないのでそれに危機をう感じた僕は、あのー、宣伝でサクセスっていうのを見まして…。（『現代日本語書き言葉均衡コーパス』、S00M0065）20 代男

（38）は、「自分の母親側のお爺ちゃんが、禿げだと自分も危ない、という話を聞きまして」に「ぞ」を付加することによって、発話が面白くなり、聴衆を引きつけ、「ぞ」が聞き手である聴衆との心的距離を縮める働きをしていることがわかる。これが、「ぞ」ではなく他の終助詞、例えば、「よ」を使用した「自分の母親側のお爺ちゃんが、禿げだと自分も危ないよ、という話を聞きまして」ではこのような意味は生じない。「ぞ」を使うことによって話し手の危機感がリアルに表現され、面白い発話となっている[17]。

[16] 深尾（2018）は、「って」で終わる文について詳細に記述しており、（37）を発話を冗談ぽくする「って」の文の例として挙げている。

[17] （38）は人から聞いた話として紹介されているが、実際には「ぞ」を使い面白さという発話効果を狙って話し手の脚色が行われていると思われる。

臺灣大學圖書館典藏資料庫

（四）イントネーションと「ぞ」

女性が使用する「ぞ」で、「ぞ」が前接語より高い位置で発音される場合にはぞんざいに感じられないことが多かった。（39）の「ぞ」は高い位置で発音され、前接語との間に短いポーズがある。(41)は、前接語の語尾「る」より高い位置で始まる長平のイントネーションである。

（39）（妻から、母親が 3、4 通手紙を出したことを聞くが 1 通も届いていない。）
夫：おかしいな。
妻：おかしい、ぞ。（CJS、1041）女

（40）IC01_佐竹：あー、なんかちっちゃくてかわいい鳥ちゃんが渡っているぞ。
IC04_翔真：どれが？（CEJC、T011_009）40 代女

（41）（今までお客をもてなすことをあまりしなかったという吉田。友人が茹でた卵を冷やすのを見て。）
IC04_吉田：おー、冷たくするぞー。（CEJC、T014_008）40 代女

（五）まとめ

第五節では、ぞんざいに感じられない「ぞ」の発話を観察した。「ぞ」は、独り言や心の中で思ったこと、話し手の主張や感情を表出という形で表現する発話だけではなく、聞き手配慮がある発話、聞き手の共感を得ることを意図した発話でも使用され、これらの「ぞ」の発話がぞんざいに感じられないことを見た。引用節で「ぞ」が使用されたり、「ぞ」を使用する発話内容や場面、そして語調などでもぞんざいに感じられないような工夫がされ、話し手は「ぞ」を巧みに使い、感情や主張を表現していた。

六、おわりに

コーパスの調査を通して、「ぞ」は現在も確かに使用されており、女性の使用も少なくないことを見た。そして、最も新しい CEJC で

臺灣大學學術期刊資料庫

は若い世代から中高年世代まで様々な年齢層に広く「ぞ」が使用されていることを観察した。

本稿で日本語会話コーパスやインタビュー資料などを調査、分析することによって、「ぞ」が実際の談話ではどのように使用されているのかを観察し、「ぞ」の新たな一面を提示することができたのではないかと思われる。文末の「ぞ」も、引用節で使用された「ぞ」も話し手の発話意図を最大限に引き出す役割を果たしていた。21 世紀の現在、「ぞ」は男性だけに使用されるのではなく、女性にも様々な場面で広く使用され、従来の「男性語」としての「ぞ」とは異なる役割をも担っていた。「ぞ」の使い方の幅が広がり、様々な場面で使用されるようになったことが、「ぞ」の使用の増加につながっていると考えられる。終助詞「ぞ」について日本語学習者に指導し、選択肢の 1 つとして提示することは、学習者がより豊かなコミュニケーションを行う上でも意味があることだと思われる。

【参考文献】

井出祥子（1983）「女らしさの言語学」水谷修編『話しことばの表現』175-193 筑摩書房

上野田鶴子（1972）「終助詞とその周辺」『日本語教育』17、62-77 日本語教育学会

遠藤織枝（2002）「男性のことばの文末」現代日本語研究会編『男性のことば・職場編』33-45 ひつじ書房

小川小百合（1997）「現代の若者会話における文末表現の男女差」『日本語教育論文集―小出詞子先生退職記念―』205-220 凡人社

川口容子（1987）「まじり合う男女のことば―実態調査による現状」『言語生活』429、34-39 筑摩書房

国立国語研究所（1951）『現代語の助詞・助動詞―用法と実例―』秀英出版

臺灣大學學術期刊資料庫

佐竹秀雄（1995）「若者ことばとレトリック」『日本語学』14-11、53-60 明治書院

スワン彰子（2004）「「ぞ」と「ぜ」の談話機能」『講座日本語教育』40、27-58 早稲田大学日本語研究教育センター

高崎みどり（1996）「テレビと女性語」『日本語学』15-10、46-56 明治書院

陳常好（1987）「終助詞―話し手と聞き手の認識のギャップをうめるための文接辞―」『日本語学』6-10、93-109 明治書院

時枝誠記（1951）「対人関係を構成する助詞、助動詞」『国語国文』20-9、1-10

野田春美（2002）「終助詞の機能」仁田義雄・益岡隆志他編『新日本語文法選書4　モダリティ』261-288 くろしお出版

深尾まどか（2010）「終助詞「ぜ」「ぞ」の意味機能」『台湾応用日語研究』7、161-178 台湾応用日語学会

深尾まどか（2015）「終助詞「わ」の使用に関する調査」『台湾日本語文学報』38、149-174 台湾日本語文学会

深尾まどか（2018）「「って」で終わる文について」『東呉日語教育学報』51、57-86 東呉大学日本語文学科

深尾まどか（2019）「「わ」の使用に関する調査―世代別データに注目して―」『日本語教育』173、31-45 日本語教育学会

メイナード・K・泉子（1994）「「という」表現の機能－読者の発想・発話態度の標識として」『月刊言語』23-11、80-85 大修館書店

メイナード・K・泉子（1997）『談話分析の可能性』くろしお出版

森山卓郎（1997）「「独り言」をめぐって―思考の言語と伝達の言語―」川端善明・仁田義雄編『日本語文法　体系と方法』173-188ひつじ書房

Kose, Yuriko Suzuki (1997) *Japanese Sentence-Final Particles: A Pragmatic Principle Approach*. University of Illinois.

臺灣大學學術期刊資料庫